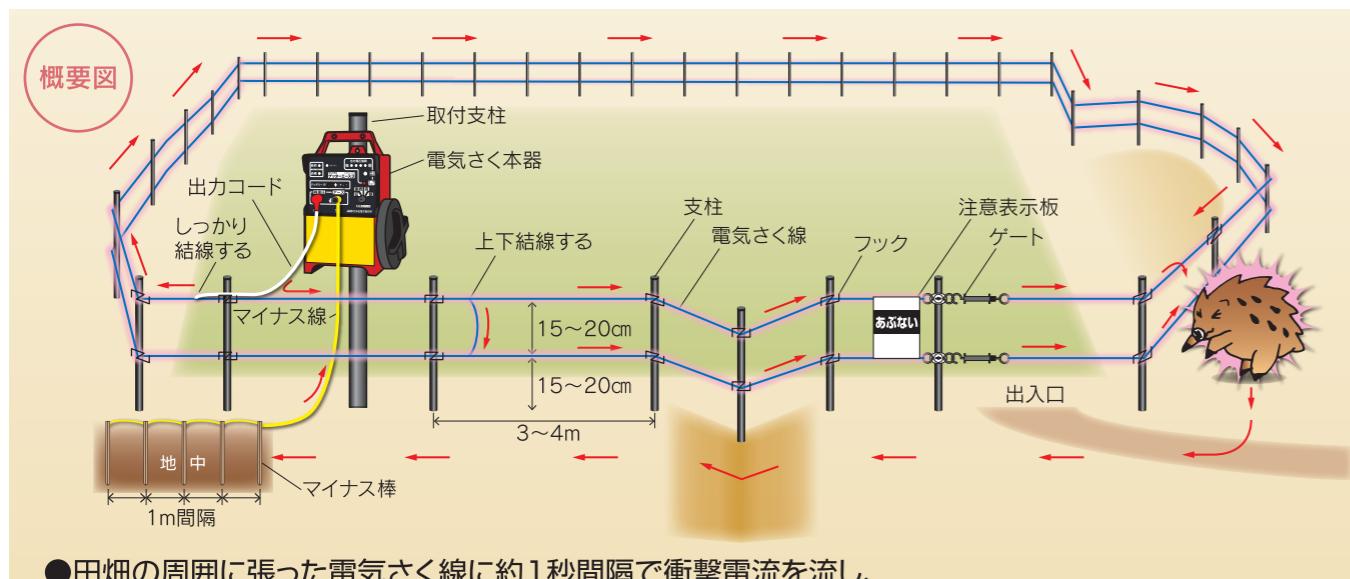


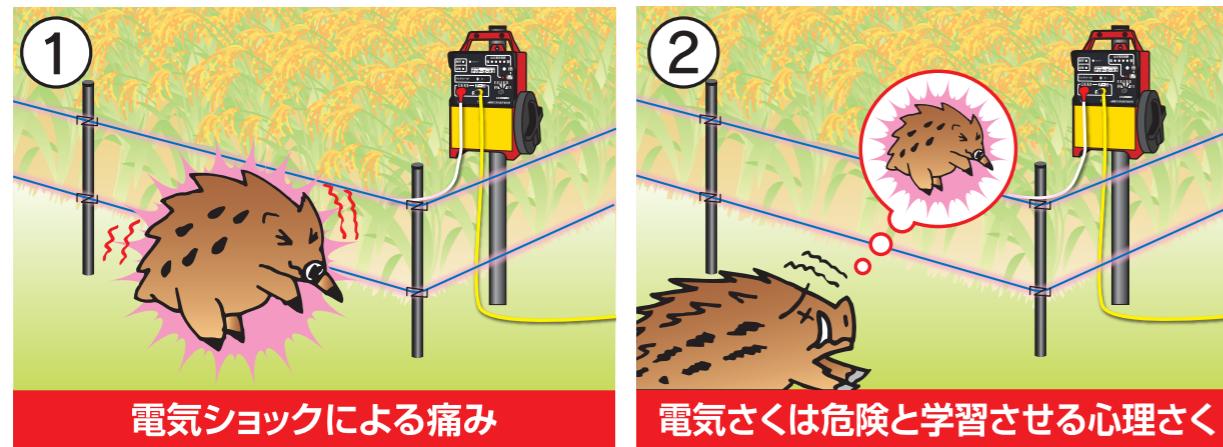
# 電気さく基礎知識

## 電気さくとは？



●田畠の周囲に張った電気さく線に約1秒間隔で衝撃電流を流し、動物が触れると衝撃電流は矢印のように、動物から地中を伝わってマイナス棒から本器に戻ります。この時、動物に強いショックを与えます。

動物に電気ショックを与え追い払うことで、  
2つの効果により動物の侵入を防ぎ長期的に農作物を守ります。

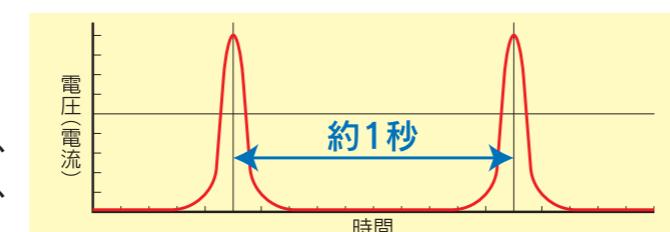


## 電気さくの安全性について

電気さくは安全な防獣システムです。

衝撃電流は  
パルス出力なので安全です。

約1秒間隔で瞬間に電気を流すパルス出力なので、人が触れても静電気のようなショックを受けますが、間隔があいているので手を離す事ができます。安全です。



電気事業法による設備基準に対応しています。

当社製品は電気用品安全法で定める  
「PSEマーク」を取得しています。

PSEマークは、日本国内のAC100V電源を使用する民生用電気製品による火災や感電などから消費者を守るために施行された法律(電気用品安全法)の基準を満たした電気製品であることを示しています。



PSEマーク

当社のACタイプの  
「電気さく用電源装置」には  
「コンセント式漏電遮断器」を  
標準で付属しています。

人が通る公道などに接していたり、「さく」や「塀」等で分離されていない場所(人が容易に立ち入れる場所)に家庭用AC100V電源式の「電気さく用電源装置」を使用して電気さくを設置する場合には、「漏電遮断器」を設置することが義務付けられています。

※AC100Vを使用する場合は、規則を遵守してください。



周囲に電気さくを  
使用中であることを知らせる  
「注意表示板」を付属しています。

人が見やすい位置・間隔で危険を知らせる表示をすることが義務付けられています。



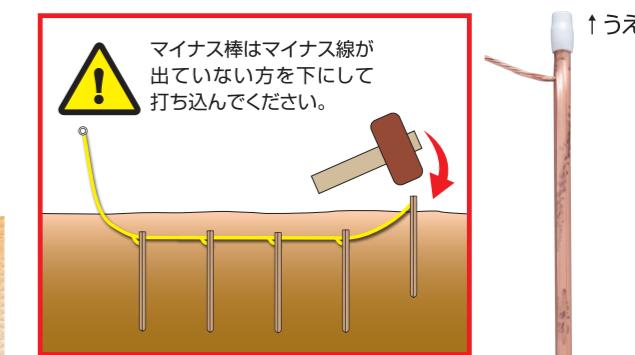
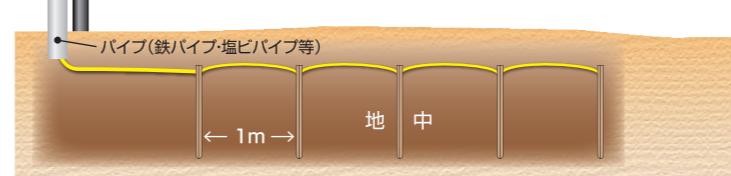
注意表示板

## 電気さく設置の際に注意すること

効果の決めてはマイナスです。必ず正しく取付けてください。

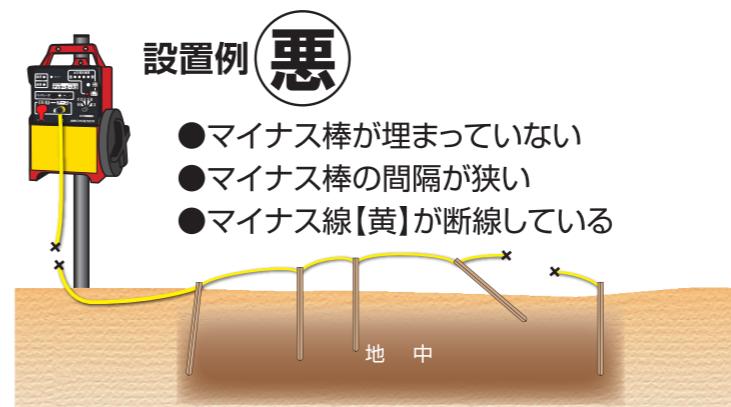
設置例 良

- 湿り気のある所に埋設してある
- マイナス棒の間隔が約1m
- マイナス棒が全て埋まっている



設置例 悪

- マイナス棒が埋まっていない
- マイナス棒の間隔が狭い
- マイナス線【黄】が断線している

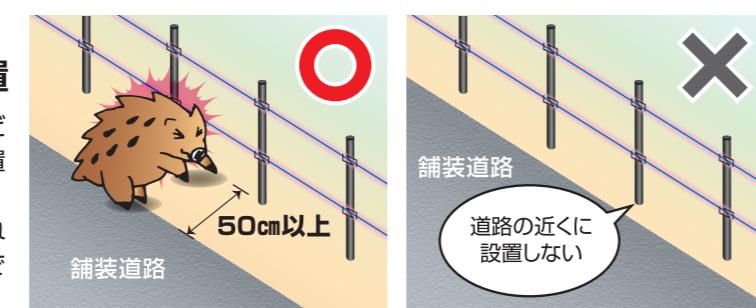


## 地形に合った設置をすることで、電気さくの効果がより高まります。

### 舗装道路

#### 舗装道路から 50cm以上の間隔をあけて設置

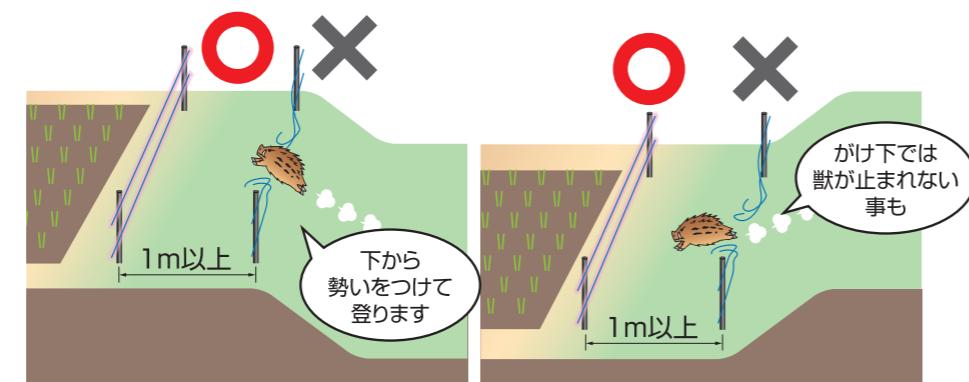
コンクリート舗装やアスファルト、石垣などではマイナスが取れにくいので離して設置します。間隔をあけることで獣の前足が地面に触れて、効果的な電気ショックを与えることができます。



### 斜面

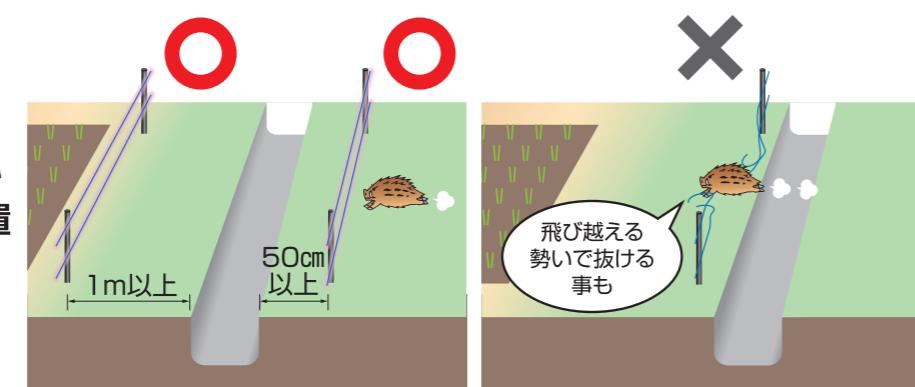
#### 斜面から 1m以上離れた 平地部分に設置

斜面では勢いがつきやすいので、出来るだけ斜面の近くを避け、平らな場所に設置してください。



### U字溝

#### 溝から囲場側に 1m以上離れた所か 侵入側の手前に設置

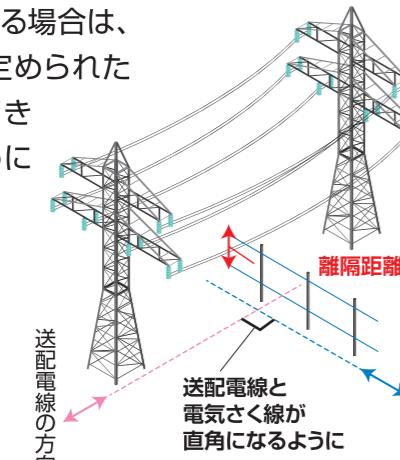


## 架空送電線や電話線のあるところの設置には注意が必要です。

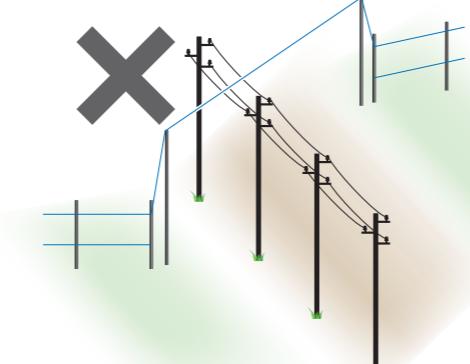
### 送電線の電圧により定められた 離隔距離を保つ必要があります。

送電線の近くに設置する場合は、送電線の電圧により定められた離隔距離をとって、できる限り直角になるように交差させてください。

送電線の電圧	離隔距離
1,000V以下	3m
1,000V以上 33,000V以下	4m
33,000V以上	8m

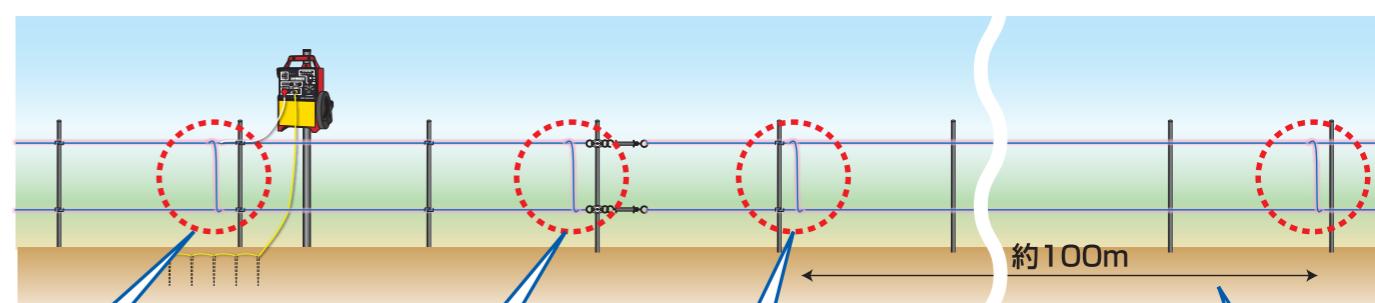


### 電線や電話線の 上を通さないようにしてください。 棚田など斜面に設置する時は 電柱の位置に注意してください



## 上下結線は3箇所以上行ってください。

### 上下結線をしないと衝撃電流が正常に流れません。

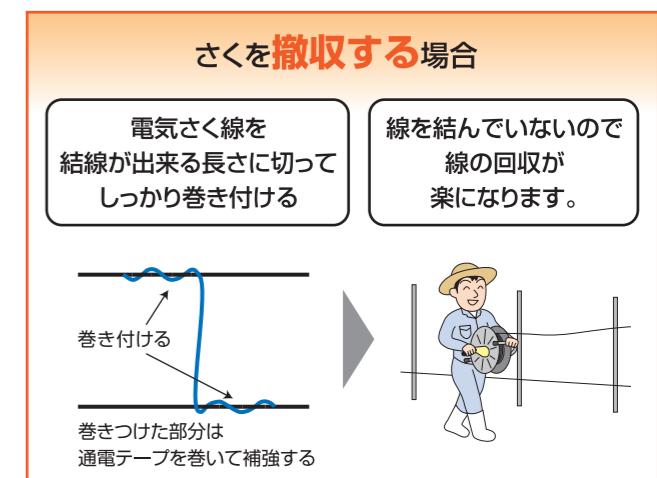
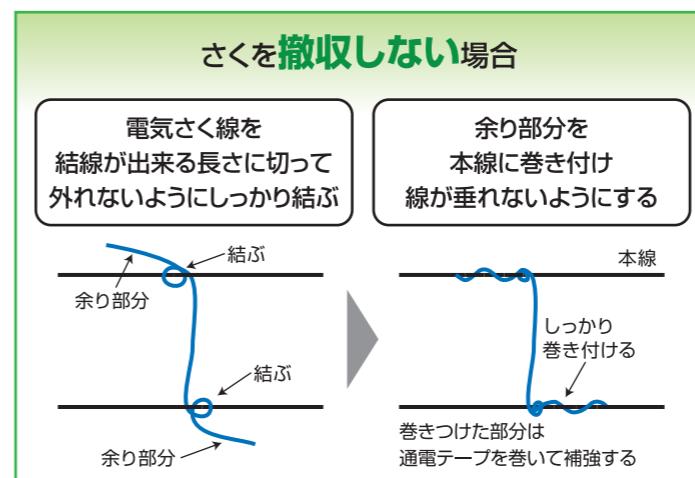


ポイント1  
本器の近くには必ず  
1箇所結線が  
必要です。

ポイント2  
出入口は  
左右2箇所に  
結線をしましょう。

ポイント3  
広い圃場では100m毎に  
上下結線をしましょう。  
上下結線が少ないと衝撃電流が正常に  
流れないとあります。狭い圃場でも、  
3箇所以上は上下結線を行ってください。

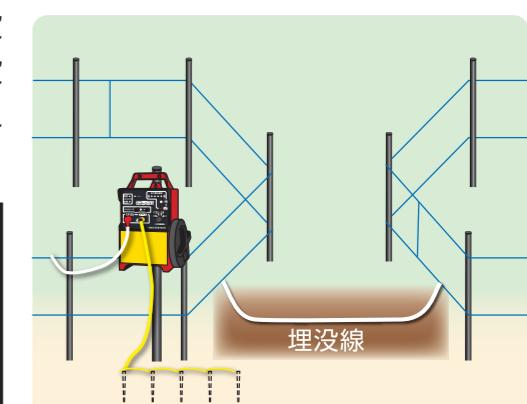
### ■状況に応じた上下結線の方法



## 2つの電気さくを電線でつなぐ際は埋没線を使用してしっかりと埋める。

地面に露出すると破損しやすくなります。埋設の際は、専用の埋没線を使用するか被覆されたリード線を電線管に通してしっかりと埋設してください。露出しているとタイヤに踏まれたり動物にかじられたりして断線することがあります。

他の回線に影響を及ぼす場合があります。被覆されたリード線は電灯線や電話やデータなどの通信回線ケーブルなどと同じ電線管に入れないのでください。



※埋設する場合は、ビニールパイプなどを使用してください。